

第7回岡崎市水道事業及び下水道事業審議会次第

日時 令和5年7月26日（水）午後2時～

会場 西庁舎7階701号室

開会

1 開会あいさつ

2 会長あいさつ

3 議事

（議題）適正な水道料金のあり方について⑥

4 閉会あいさつ

5 その他

審議会開催日程について

第8回 令和5年8月25日（金）

閉会

岡崎市水道事業及び下水道事業審議会

第7回審議会

～ 料金の算定について ～

令和5年7月26日

岡崎市上下水道局

本日の審議内容

第5回審議会

財政収支の予測について

- 投資事業計画に基づく財政収支予測の確認



第6回審議会

料金の算定について（1）

- 前回論点の整理
- 総括原価の確認
- 原価の分解・配賦の確認



第7回審議会

料金の算定について（2）

- 料金改定率の決定
- 料金体系案の確認
検討項目と現状の確認
料金体系案と影響額試算



第8・9回審議会

料金の算定について

- 料金体系の決定
- 答申書の作成

1 料金改定率について

前回までの審議内容 と 料金改定率について

目標とする資金残高

半年分の支出に、不測の事態に備える資金を加えた **50億円**
・半年分の収益的及び資本的支出 各20億円 + 災害等不測の事態の資金 10億円

企業債の借入方針

内部留保資金の水準により**借入額を調整**
・内部留保資金が高水準の期間は借入を抑制、内部留保資金が50億円を下回らない水準で借入
企業債残高は **200億円を上限**とする

経営戦略の方針

長期的視点で検討
・短期（4年先）ではなく、長期（10年先）の経営状況により判断
・収支試算には経営戦略のローリングも見込む（計18年間の財政収支見通し）

料金改定率（案）

令和7年度 平均改定率 **9.7%**
・経営戦略を長期で見込む場合、R7年度9.7%、R11年度16.0%、R15年10.1%
短期で見込む場合、R7年度 0%、R11年度 2.9%、R15年43.9%

総括原価の配賦

料金の算定は総括原価方式
基本料金：従量料金 ≒ **27.9%：72.1%**（R7年度9.7%改定の場合）
・基本料金を現状（R4実績 基本24.1%：従量75.9%）よりも高める方向

(参考) 前回までの審議事項

目標とする資金残高について ※第5回審議会資料より

【前回（平成30年度審議会）の資金残高の考え方】

収益的支出	資本的支出	その他
1年分の現金支出 【約40億円】	1年分の建設資金 (資本的収支不足額) 【約40億円】	災害等の不測の事態に 備えた資金 【10億円】



【今後の資金残高の考え方（事務局案）】

収益的支出	資本的支出	その他
半年分の現金支出 【約20億円】	半年分の建設資金 (資本的収支不足額の半額分) 【約20億円】	災害等の不測の事態に 備えた資金 【10億円】

料金収入等を確保できない期間も、恒常的に発生する支出に対応できる資金の確保が必要

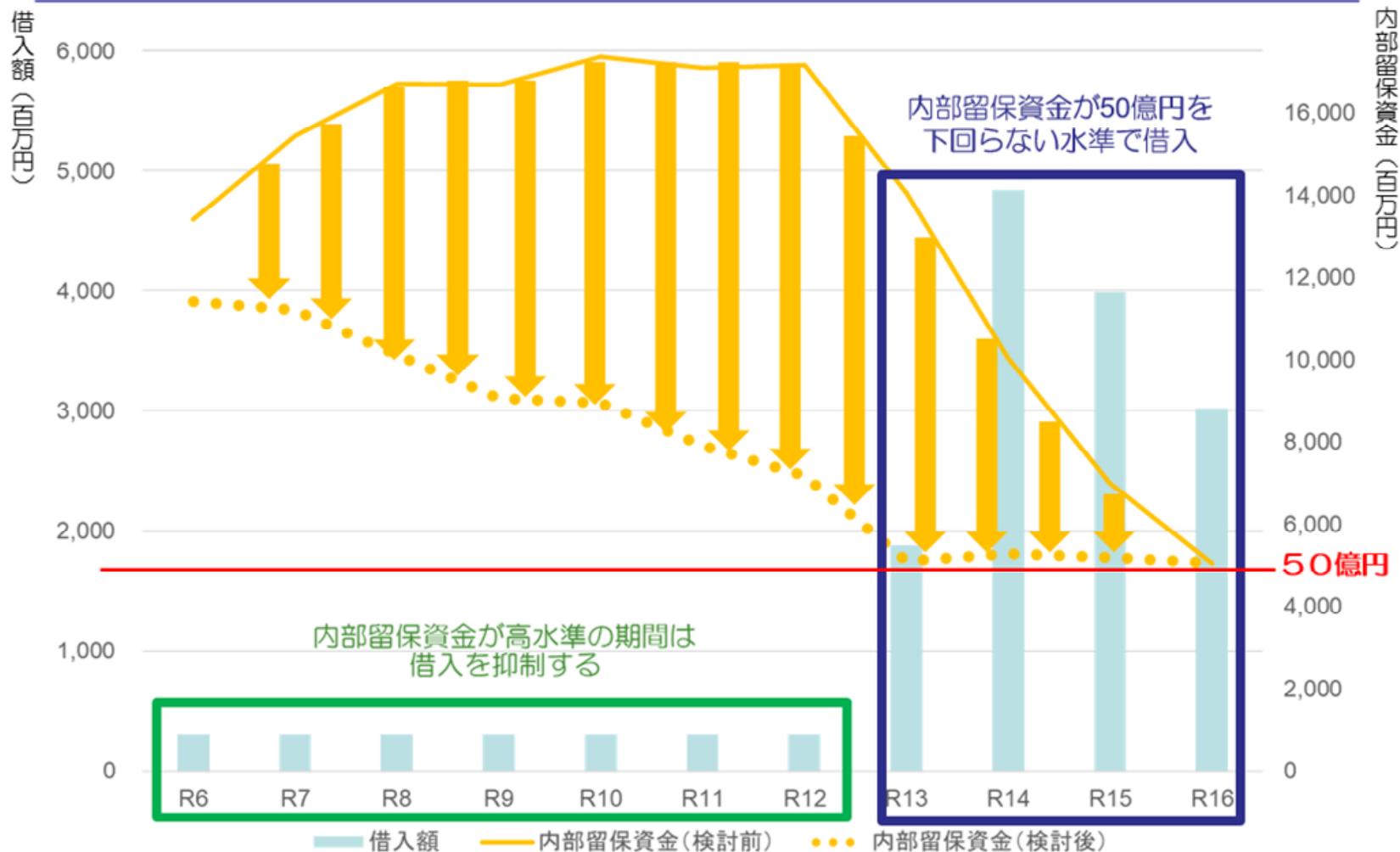
(目標とする資金残高の水準を6か月分相当とした根拠)

- 過去の震災時（東日本大震災、熊本地震）、全ての地域で概ね断水が解消するのに約4～6か月程度かかる
- 企業債は半年ごとに償還するため、収入を確保できない期間にあっても償還に対応できる資金が必要となる

(参考) 前回までの審議事項

企業債借入方針の再検討

※第6回審議会資料より



(参考) 前回までの審議事項

給水収益の水準(再検討後の企業債反映) ※第6回審議会資料より

前半の借入額を抑えることで、計画期間内の支払利息・企業債償還金が抑制された結果、令和16年度までの黒字経営の維持及び目標資金の確保に必要な料金改定率は低下しました。

(百万円)

区分	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
1 営業収益	7,015	6,996	6,987	6,959	6,948	6,938	6,941	6,916	6,906	6,890
2 給水収益	6,740	6,716	6,702	6,670	6,654	6,638	6,636	6,606	6,590	6,575
3 他会計負担金	264	269	274	279	284	289	294	299	305	305
4 営業外収益	1,049	1,034	1,025	1,019	1,013	1,005	1,000	992	993	995
5 他会計負担金	172	156	142	130	119	103	93	85	82	79
6 長期前受金戻入	838	839	844	850	855	863	868	868	872	877
7 収益合計	8,064	8,030	8,012	7,978	7,962	7,943	7,941	7,909	7,899	7,885
8 営業費用	6,732	6,789	6,859	6,953	6,991	7,052	7,152	7,318	7,486	7,575
9 維持管理費	3,573	3,614	3,606	3,630	3,642	3,674	3,721	3,757	3,792	3,798
10 減価償却費	3,010	3,024	3,099	3,166	3,189	3,216	3,266	3,392	3,522	3,605
11 資産減耗費	148	151	153	156	159	162	165	168	171	171
12 営業外費用	142	133	124	116	108	102	96	116	179	228
13 支払利息	142	133	124	116	108	102	96	116	179	228
14 費用合計	6,879	6,926	6,988	7,073	7,104	7,159	7,253	7,438	7,669	7,808
15 純損益	1,185	1,104	1,024	905	858	784	688	471	230	77
16 資本的収入	1,758	2,022	1,758	1,554	1,460	1,380	2,877	5,920	5,035	4,035
17 企業債	300	300	300	300	300	300	1,879	4,841	3,989	3,018
18 他会計出資金	808	1,033	697	548	395	395	238	243	210	264
19 資本的支出	5,641	6,629	6,418	5,095	6,029	5,447	8,366	8,955	8,326	7,194
20 施設改良費	4,203	5,334	5,071	3,886	4,809	4,460	7,438	8,161	7,353	6,214
21 企業債償還金	1,235	1,193	1,145	1,106	1,018	885	725	691	771	877
22 資本的収支資金不足額	△ 3,883	△ 4,607	△ 4,660	△ 3,541	△ 4,569	△ 4,067	△ 5,489	△ 3,035	△ 3,291	△ 3,159
23 内部留保資金	11,207	10,109	9,048	8,948	7,891	7,181	5,098	5,278	5,187	5,053
24 目標資金	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
25 企業債残高	13,007	12,114	11,269	10,463	9,745	9,160	10,314	14,464	17,682	19,823

R7年度に
9.7%の
料金改定

黒字を維持

目標資金
残高を確保

(参考) 前回までの審議事項

経営戦略の検討

※第6回審議会資料より

短期視点

- **短期**（4年先）の経営状況により判断

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24
給水収益	検討				検討				検討				検討					
純利益				?				?				?				?		
目標資金確保				?				?				?				?		

長期視点

- **長期**（10年先）の経営状況により判断
- 経営戦略のローリングについても見込み、試算に反映
（計18年間の財政収支見通し＝長期）

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24
給水収益	検討				検討				検討				検討					
純利益																		?
目標資金確保																		?

(参考) 前回までの審議事項

長期視点での経営戦略

※第6回審議会資料より

区分	9.7%改定			16.0%改定				10.1%改定										
	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24
1 営業収益	7,015	6,996	6,987	6,959	8,016	8,003	8,006	7,976	8,732	8,712	8,709	8,672	8,651	8,631	8,628	8,590	8,570	8,550
2 前水収益	6,740	6,716	6,702	6,670	7,721	7,703	7,701	7,666	8,417	8,396	8,394	8,356	8,336	8,316	8,313	8,275	8,255	8,235
3 他会計負担金	264	269	274	279	284	289	294	299	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305
4 営業外収益	1,049	1,034	1,025	1,019	1,013	1,005	1,000	992	993	995	1,003	1,007	1,004	1,009	1,006	998	983	969
5 他会計負担金	172	156	142	130	119	103	93	85	82	79	81	81	81	81	81	81	81	81
6 長期前受金戻入	838	839	844	850	855	863	868	868	872	877	884	887	884	889	887	878	863	850
7 収益合計	8,064	8,030	8,012	7,978	9,029	9,008	9,005	8,969	9,725	9,707	9,713	9,678	9,655	9,640	9,634	9,588	9,553	9,519
8 営業費用	6,732	6,789	6,859	6,953	6,991	7,052	7,152	7,318	7,486	7,575	7,695	7,772	7,823	7,965	8,154	8,349	8,513	8,651
9 維持管理費	3,573	3,614	3,606	3,630	3,642	3,674	3,721	3,757	3,792	3,798	3,803	3,799	3,790	3,796	3,792	3,791	3,788	3,795
10 減価償却費	3,010	3,024	3,099	3,166	3,189	3,216	3,266	3,392	3,522	3,605	3,720	3,802	3,862	3,997	4,191	4,386	4,553	4,685
11 資産減耗費	148	151	153	156	159	162	165	168	171	171	171	171	171	171	171	171	171	171
12 営業外費用	142	133	124	116	108	102	96	92	115	134	140	151	161	167	196	223	247	254
13 支払利息	142	133	124	116	108	102	96	92	115	134	140	151	161	167	196	223	247	254
14 費用合計	6,879	6,926	6,988	7,073	7,104	7,159	7,253	7,415	7,605	7,713	7,839	7,928	7,989	8,137	8,355	8,577	8,764	8,910
15 経利益	1,185	1,104	1,024	905	1,925	1,849	1,752	1,554	2,120	1,994	1,874	1,750	1,666	1,503	1,279	1,011	789	609
16 資本の収入	1,758	2,022	1,758	1,554	1,460	1,380	1,298	3,153	2,887	2,023	2,194	2,138	1,668	3,271	3,530	3,072	2,024	2,980
17 企業債	300	300	300	300	300	300	300	2,074	1,841	1,006	1,325	1,277	1,004	2,547	2,484	2,324	1,219	2,274
18 他会計出資金	808	1,033	697	548	395	395	238	243	210	264	138	160	31	32	92	27	20	23
19 資本の支出	5,641	6,629	6,418	5,095	6,029	5,447	8,366	8,903	8,181	6,977	7,204	6,936	6,767	8,091	8,218	7,575	6,746	7,477
20 建設改良費	4,203	5,334	5,071	3,886	4,809	4,460	7,438	8,161	7,353	6,214	6,341	6,144	5,859	7,265	7,226	6,629	5,648	6,468
21 企業債償還金	1,235	1,193	1,145	1,106	1,018	885	725	638	626	660	660	689	706	724	790	844	896	907
22 資本の収支資金不足額	△ 3,883	△ 4,607	△ 4,660	△ 3,541	△ 4,569	△ 4,067	△ 7,068	△ 5,750	△ 5,294	△ 4,954	△ 5,010	△ 4,798	△ 5,099	△ 4,820	△ 4,688	△ 4,503	△ 4,722	△ 4,497
23 内部留保資金	11,207	10,109	9,048	8,948	8,958	9,313	6,715	5,263	5,059	5,047	5,067	5,154	5,019	5,030	5,045	5,181	5,058	5,125
24 目標資金	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
25 企業債残高	13,007	12,114	11,269	10,463	9,745	9,160	8,735	10,171	11,386	11,731	12,396	12,984	13,282	15,105	16,800	18,280	18,603	19,970

2 料金体系案について

料金体系の検討項目

②基本料金の給水能力による見直し

①基本料金と従量料金の収入割合の見直し

③従量料金の逡増度の見直し

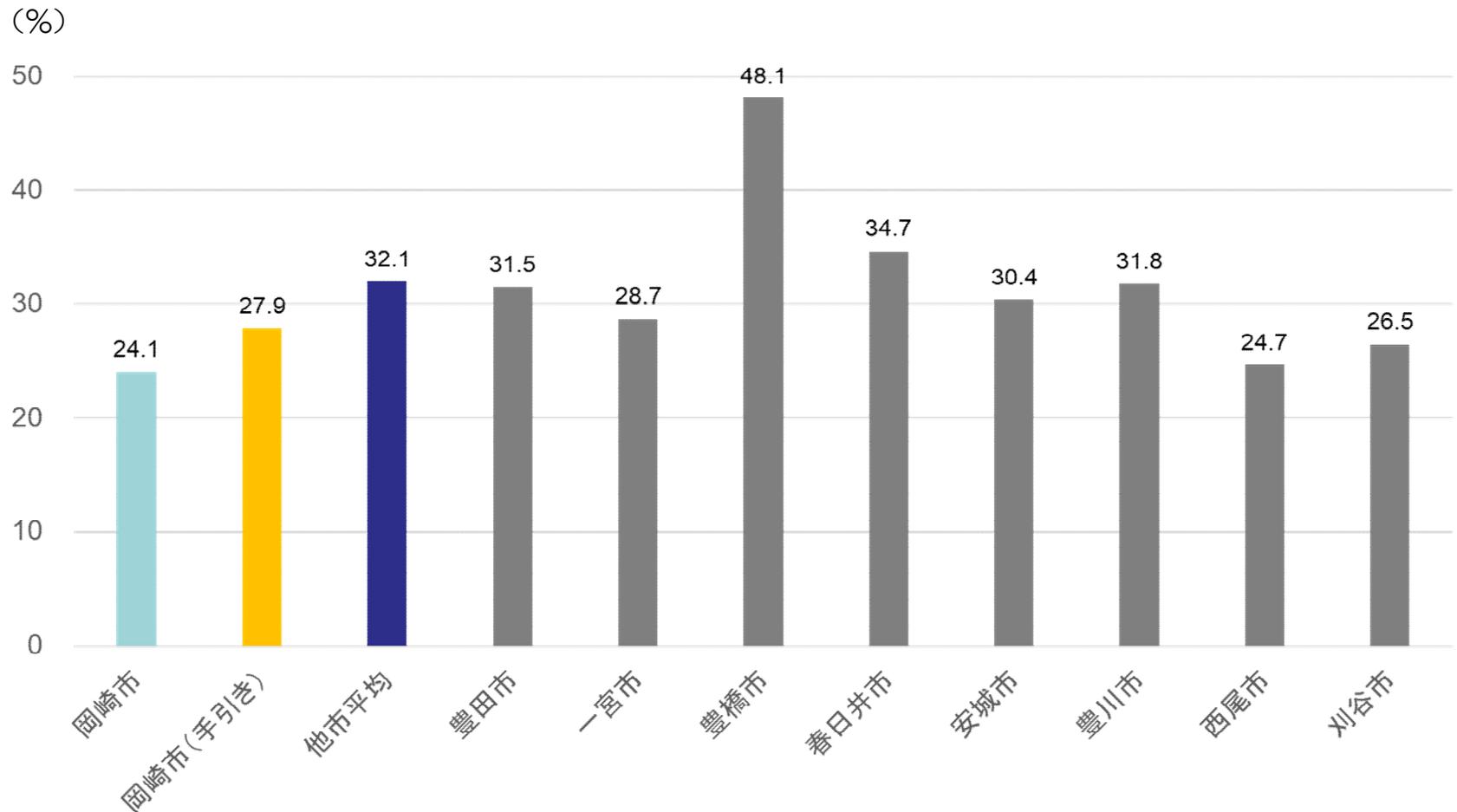
用途	口径	基本料金		従量料金単価 (/m ³)	
		基本料金	従量料金単価 (/m ³)	従量料金単価 (/m ³)	従量料金単価 (/m ³)
一般	13mm	520円	~10m ³	65円	
	20mm	950円	11~25m ³	127円	
	25mm	1,410円	26~50m ³	156円	
	40mm	3,550円	51m ³ 超	201円	
	50mm	8,110円	~50m ³ 51m ³ 超	156円 216円	
	75mm	15,430円			
	100mm	23,650円			
	150mm	47,410円			
臨時	13から150mm	の各口径と同一	一律	325円	
特定共用		470円	25mm口径以下と同一		

検討項目ごとの現状

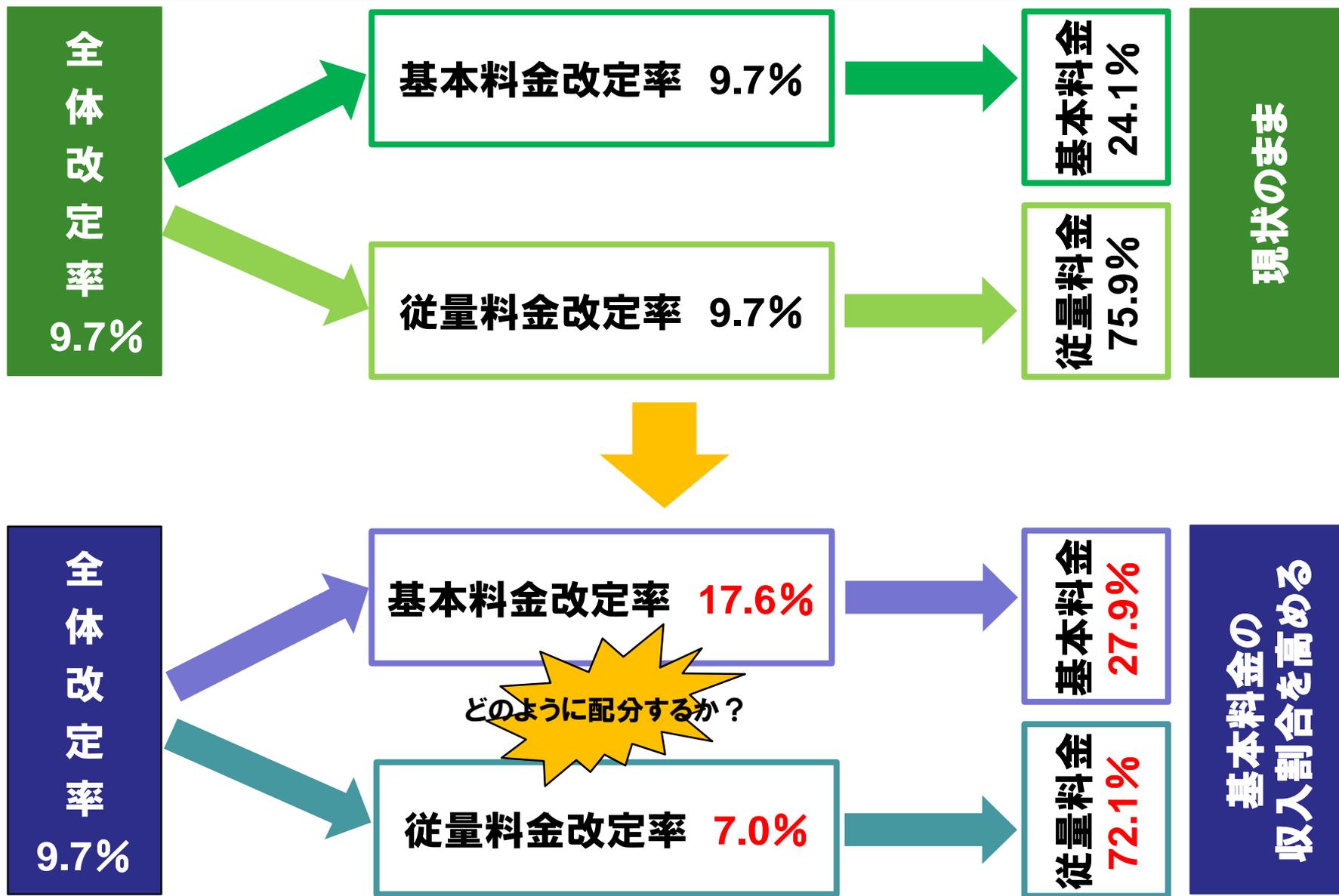
検討項目	現状	『水道料金改定業務の手引き』
① 基本料金と 従量料金の 収入割合	<ul style="list-style-type: none">令和4年度決算に基づく現状の割合は、 基本料金24.1%、 従量料金75.9% です。基本料金の収入割合は、他団体平均よりも低くなっています。	<ul style="list-style-type: none">手引きに示された方法で算出した割合は、 基本料金27.9%、従量料金72.1%です。基本料金の構成比が低いと、水需要の減少に伴う収入の減少の影響が大きく、企業経営が不安定になる傾向があるとされています。
② 口径別基本料金	<ul style="list-style-type: none">岡崎市は、いずれの口径も他団体平均や手引きに基づき算定した料金よりも低くなっています。大口径の基本料金ほど、他団体よりも低くなる傾向です。	<ul style="list-style-type: none">各口径の給水能力により配賦する方法（理論流量比）により基本料金を決定することを基本とし、現状を加味した調整を検討するものとされています。
③ 従量料金 逦増度	<ul style="list-style-type: none">岡崎市は、従量料金の「逦増制」を採用しています。従量料金の逦増度について岡崎市は他団体平均より低くなっています。	<ul style="list-style-type: none">従量料金は均一料金制が理想とされていますが、現状と乖離がある場合、利用者への影響を加味し、徐々に逦増度を緩和することが適切とされています。

【現状①】基本料金の収入割合（他市比較）

基本料金の収入割合は、他市平均より低い水準となっています。



【現状①】基本料金と従量料金の収入割合



【現状①②③】口径別基本料金、従量料金逡増度

口径	基本料金		乖離 現行一手引き	水量	従量料金		乖離 現行一手引き		
	現行	手引き			現行	手引き			
13mm	520	571	重	~10m ³	65	125	軽		
20mm	950	1,094		11~25m ³	127			△60	
25mm	1,410	1,599		26~50m ³	156			+2	
40mm	3,550	5,562		51m ³ 超	201	125			
50mm	8,110	14,037		△189	~50m ³			156	+31
75mm	15,430	33,498		△2,012					
100mm	23,650	82,037		△5,927	△18,068			+31	
150mm	47,410	116,783		△58,387					△69,373

手引きに基づき算定した料金体系と比較して、現行の料金体系は、

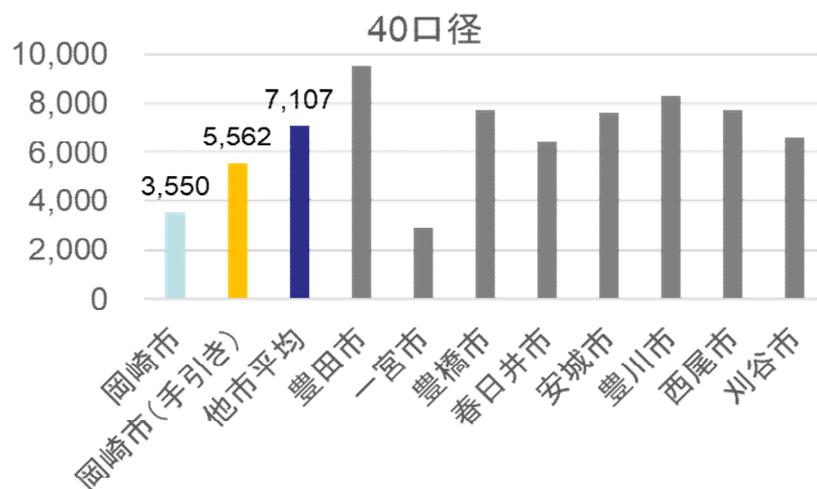
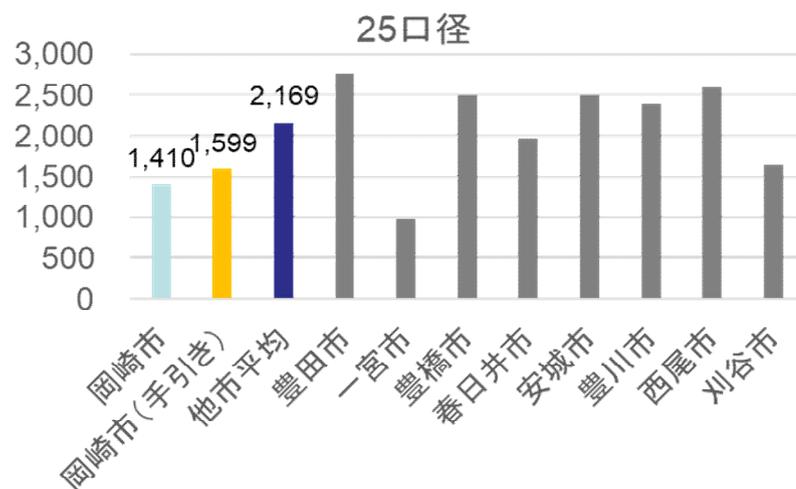
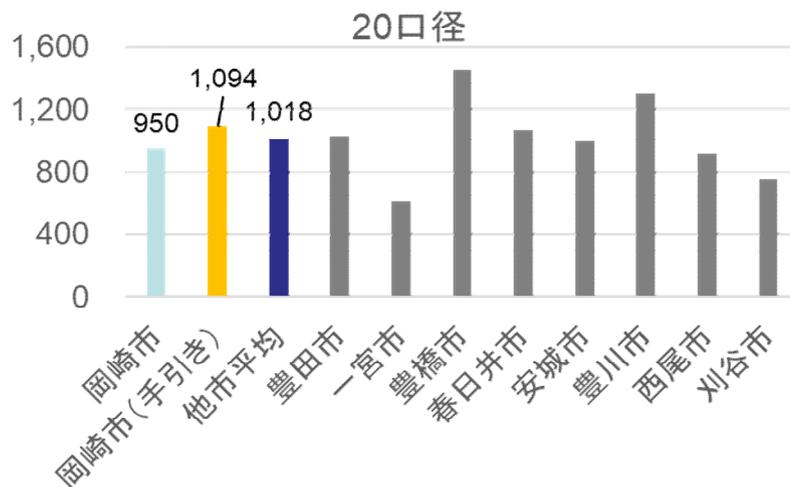
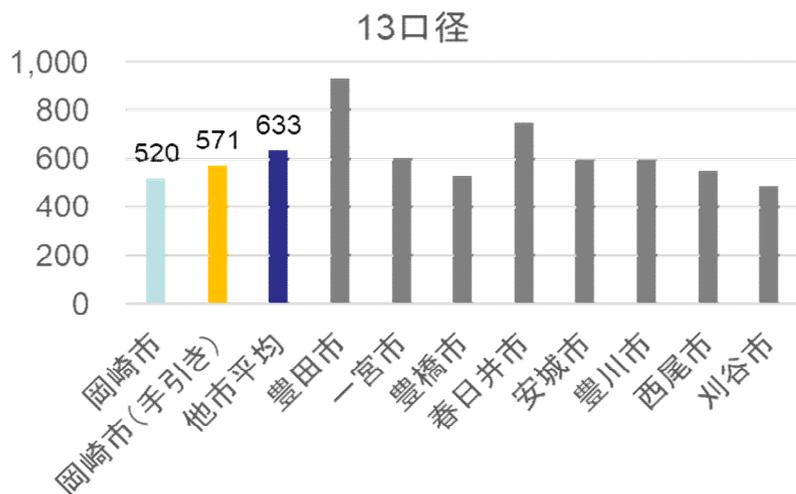
①基本料金：口径が大きくなるほど負担が軽い

②従量料金：使用水量が少ないほど負担が軽い(逡増制)

全体では、多量使用者が少量使用者の負担をカバーしている(基本料金割合低)

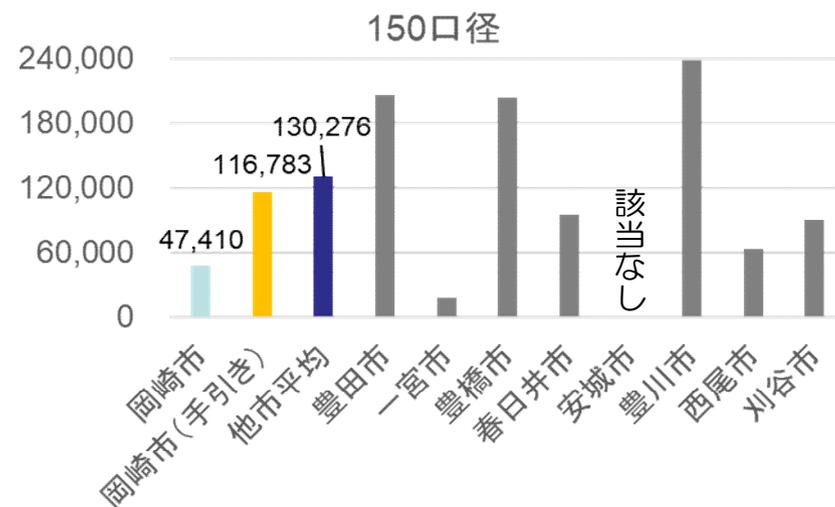
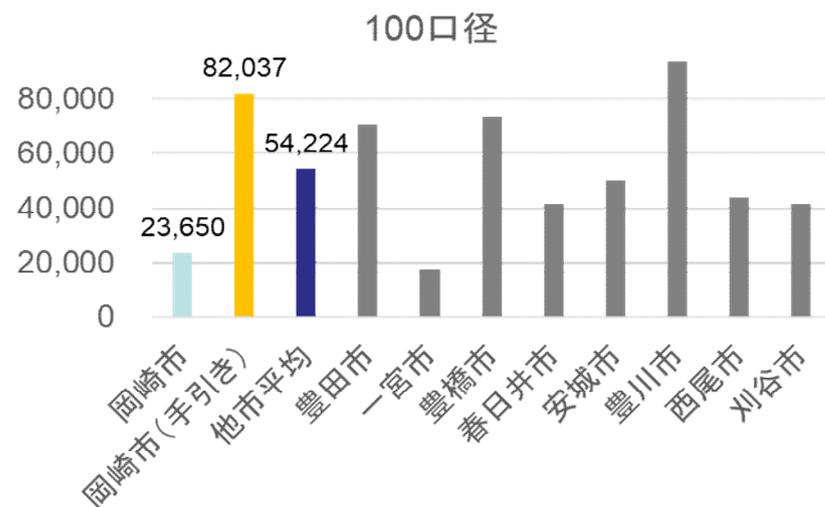
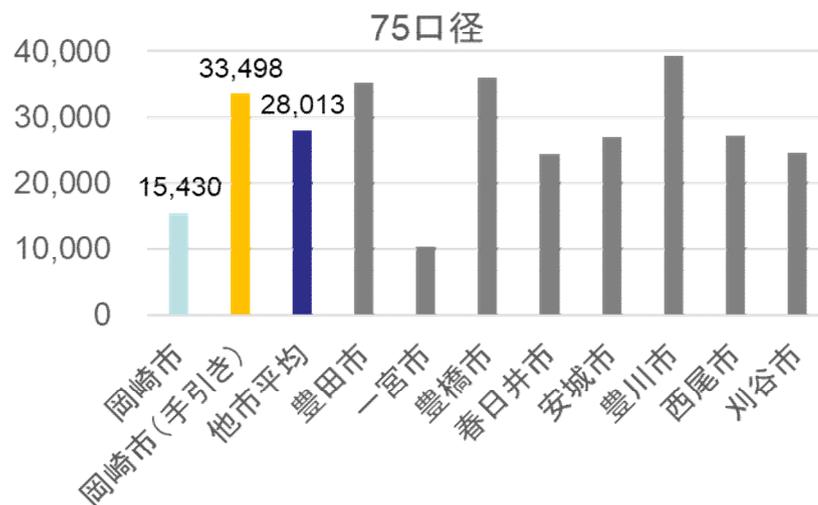
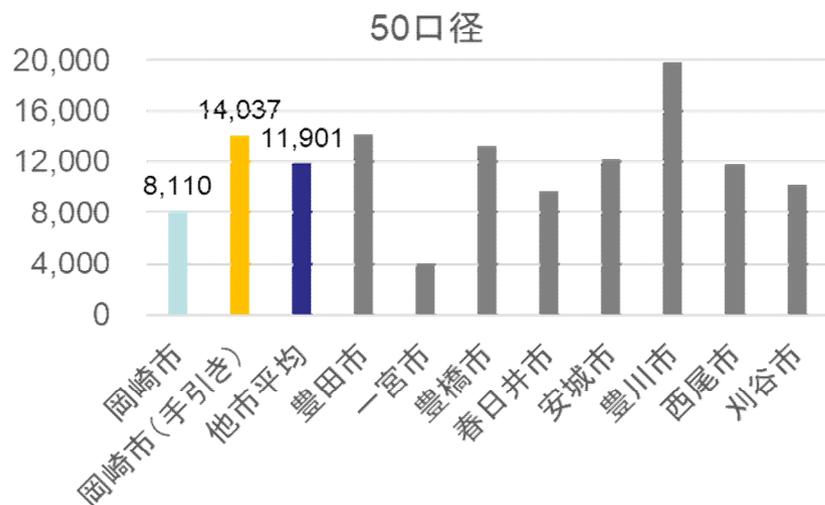
【現状②】口径別の基本料金(他市比較)

1ヶ月あたりの基本料金(税抜き)は、いずれの口径も他市平均より低い水準です。



【現状②】口径別の基本料金（他市比較）

また、大口径の基本料金ほど、他団体よりも低くなる傾向です。



【基本料金の検討方針】

①給水収益に占める基本料金割合

- 現行の基本料金は全ての口径で低い状況にある（対手引き、対他市比較）
- 基本料金の改定率を全体改定率9.7%よりも高め、
収入に占める基本料金の割合を高める
⇒ 有収水量の減少に影響されにくい安定した経営を目指す
- ただし、少水量使用者にとっては基本料金の改定の影響が大きくなるため、使用水量が少ないと想定される口径13mmの改定率については配慮が必要

②口径間の負担割合

- 現行の基本料金は大口径使用者ほど低い状況にある（対手引き、対他市比較）
- **使用口径に応じた負担を求める**（大口径ほど改定率大）
- ただし、大口径使用者にとっては大幅な改定が必要となるため、激変とならないよう、配慮が必要

【基本料金】料金体系案

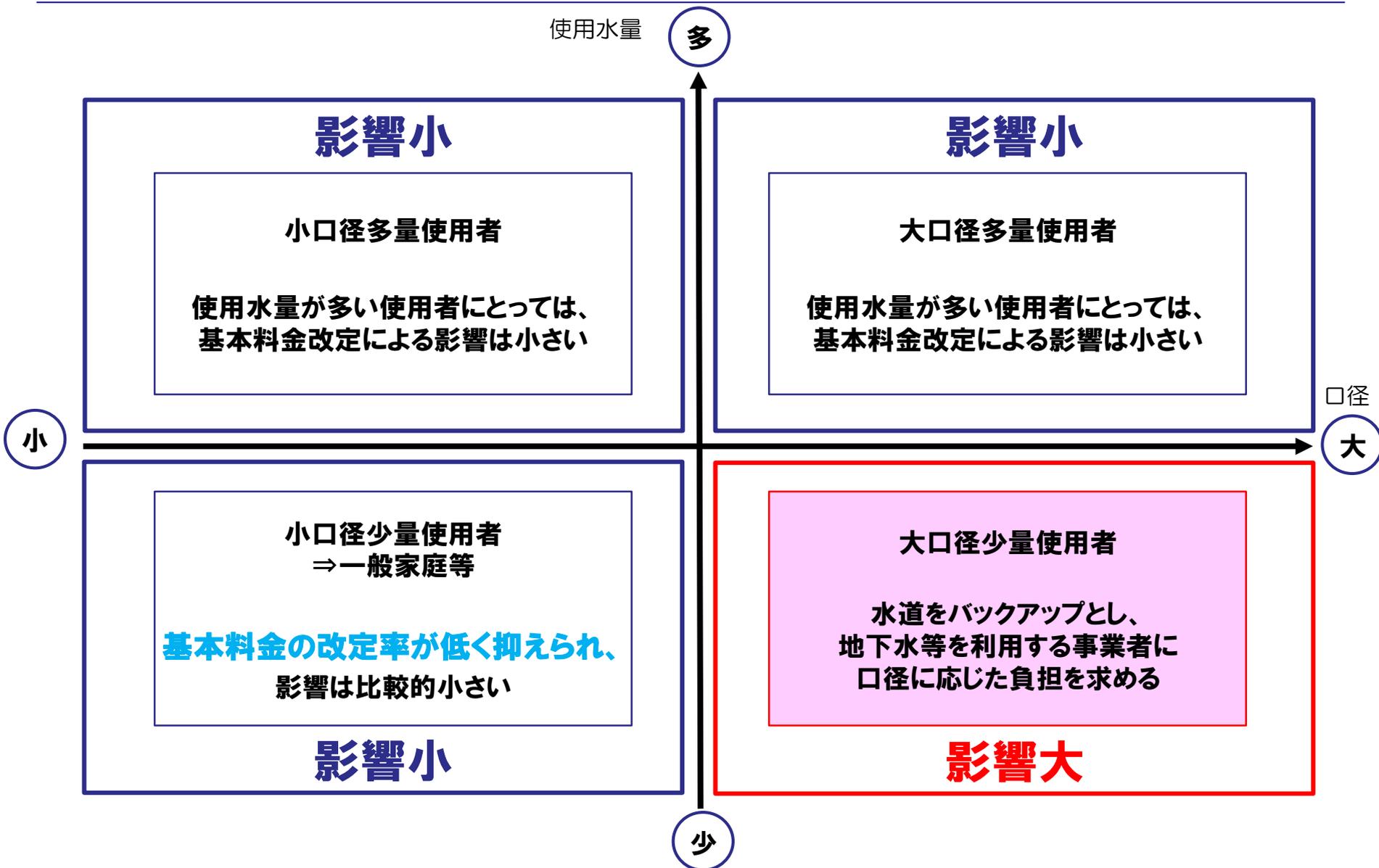
単位：円（1月当たり金額、税抜き）

口径	現行	手引き			事務局案			想定件数 (件/月)
		改定後	現行差	改定率	改定後	現行差	改定率	
13mm	520	571	+51	+9.8%	578	+58	+11.2%	94,004
20mm	950	1,094	+144	+15.2%	1,102	+152	+16.0%	68,482
25mm	1,410	1,599	+189	+13.4%	1,692	+282	+20.0%	2,664
40mm	3,550	5,562	+2,012	+56.7%	5,680	+2,130	+60.0%	540
50mm	8,110	14,037	+5,927	+73.1%	14,598	+6,488	+80.0%	264
75mm	15,430	33,498	+18,068	+117.1%	30,860	+15,430	+100.0%	134
100mm	23,650	82,037	+58,387	+246.9%	47,300	+23,650	+100.0%	35
150mm	47,410	116,783	+69,373	+146.3%	94,820	+47,410	+100.0%	5

平均改定率：約17.6%（基本収入割合を27.9%とするため ⇔ 全体改定率9.7%）

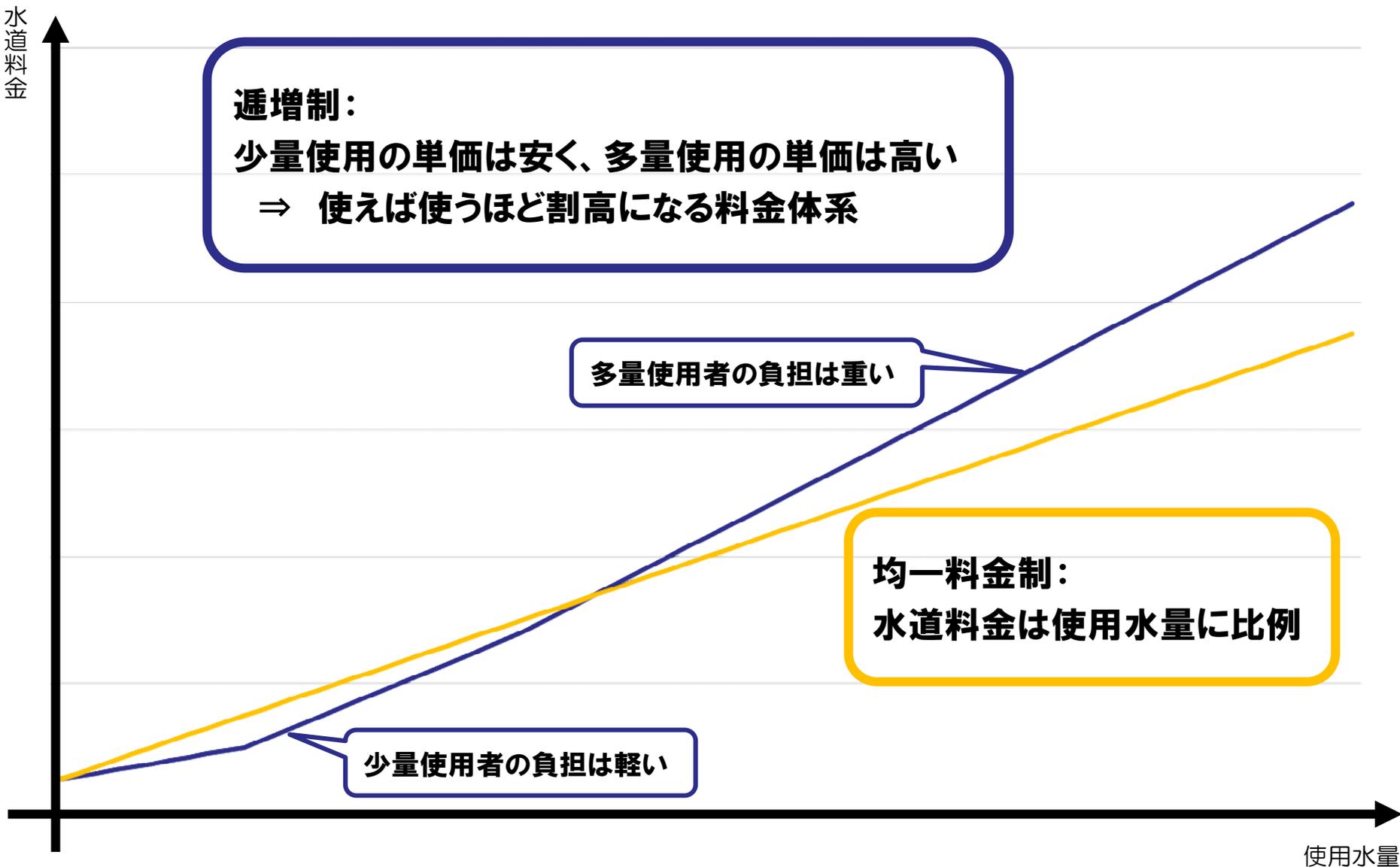
- ・口径毎に相応の負担を求めるため、大口径使用者ほど大幅な改定となる
- ・ただし、激変緩和のため各口径の改定率の上限を+100%とし、手引きによる改定率が100%未満の口径50mm以下で調整する
- ・小口径13・20mmは、改定率を平均改定率よりも低く抑え、少水量使用者に配慮

【基本料金】改定による影響



【現状③】従量料金の逡増制イメージ図

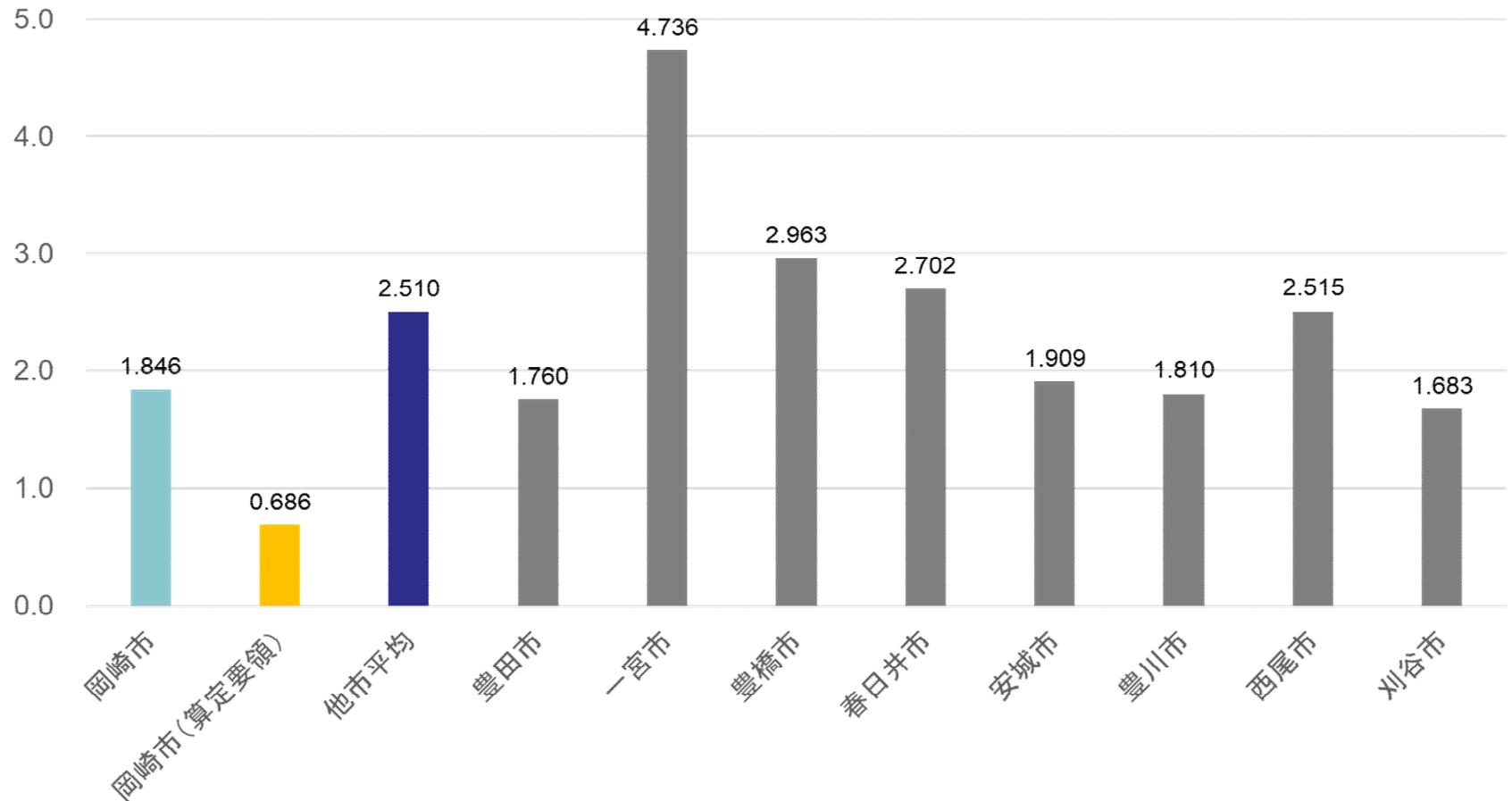
水道料金



【現状③】従量料金の逡増度（他市比較）

従量料金の逡増度は、他市平均より低い水準です。

※逡増度＝最高単価÷((13mm基本料金+10m³使用時の従量料金)÷10)



【従量料金の検討方針】

① 逓増度の緩和

- 手引きでは従量料金は均一料金制とされており、現状の逓増度は高い
- 一方で、他市と比較すると現状の逓増度は低い状況
- 水道事業の経営面、公平性の面から**現行よりも逓増度を緩和する方向で検討する**
- ただし、少量使用者の激変とならないよう配慮する

② 水道事業の経営面

- 「逓増制」により、有収水量の減少以上に従量料金は減少する

	R2	R3	R4
有収水量 (m ³)	41,142,773	40,699,726	39,991,999
従量料金 (税抜き、千円)	4,875,145	4,806,140	4,696,634

逓増率の変化:

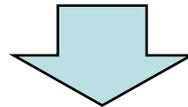
- R2からR3: 有収水量 -1.08% , 従量料金 -1.42%
- R3からR4: 有収水量 -1.74% , 従量料金 -2.28%

【従量料金の検討方針】

③使用者間の公平性

- 従量料金の逡増制により、本来あるべき姿（均一料金）に対して、**少量使用者の負担は軽く、多量使用者の負担は重い**という構造になっている
- 多量使用者の負担感が強く、水道以外の水源（＝地下水）の活用につながる恐れが生じる
- 現状の逡増度は、多量使用の抑制というよりも、生活水の低廉化を目的とした少量使用者の負担軽減策としての面が強い
- 一人あたりの家庭での使用水量はおよそ7m³/月と言われており、通常の水の使い方をする世帯の平均単価（構成人員数別）は以下のとおり
⇒同じ生活水であっても、世帯構成人員が多くなると支払単価は上昇する
⇒水道料金について配慮が必要な低所得者層は、使用水量では判断できない

構成人員数	1人(7m ³)	2人(14m ³)	3人(21m ³)	4人(28m ³)	5人(35m ³)	6人(42m ³)
平均単価/m ³	65円	83円	97円	108円	118円	124円



現状からの激変とならない範囲での逡増度の緩和を目指す

【従量料金】料金体系案

単位：円（1月当たり金額、税抜き）

口径	水量	現行	手引き			事務局案														
			改定後	現行差	改定率	改定後	現行差	改定率												
13mm	～10m ³	65	125 (均一)	+60	+92.3%	72	+7	+10.8%												
20mm	11～25m ³	127		△2	△1.6%	135	+8	+6.3%												
	26～50m ³	156		△31	△19.9%	165	+9	+5.8%												
25mm	51m ³ 超	201		△76	△37.8%	211	+10	+5.0%												
40mm	～50m ³ 51m ³ 超	156		125 (均一)	△31	△19.9%	165	+9	+5.8%											
50mm										216	△91	△42.1%	226	+10	+4.6%					
75mm																				
100mm																				
150mm																				

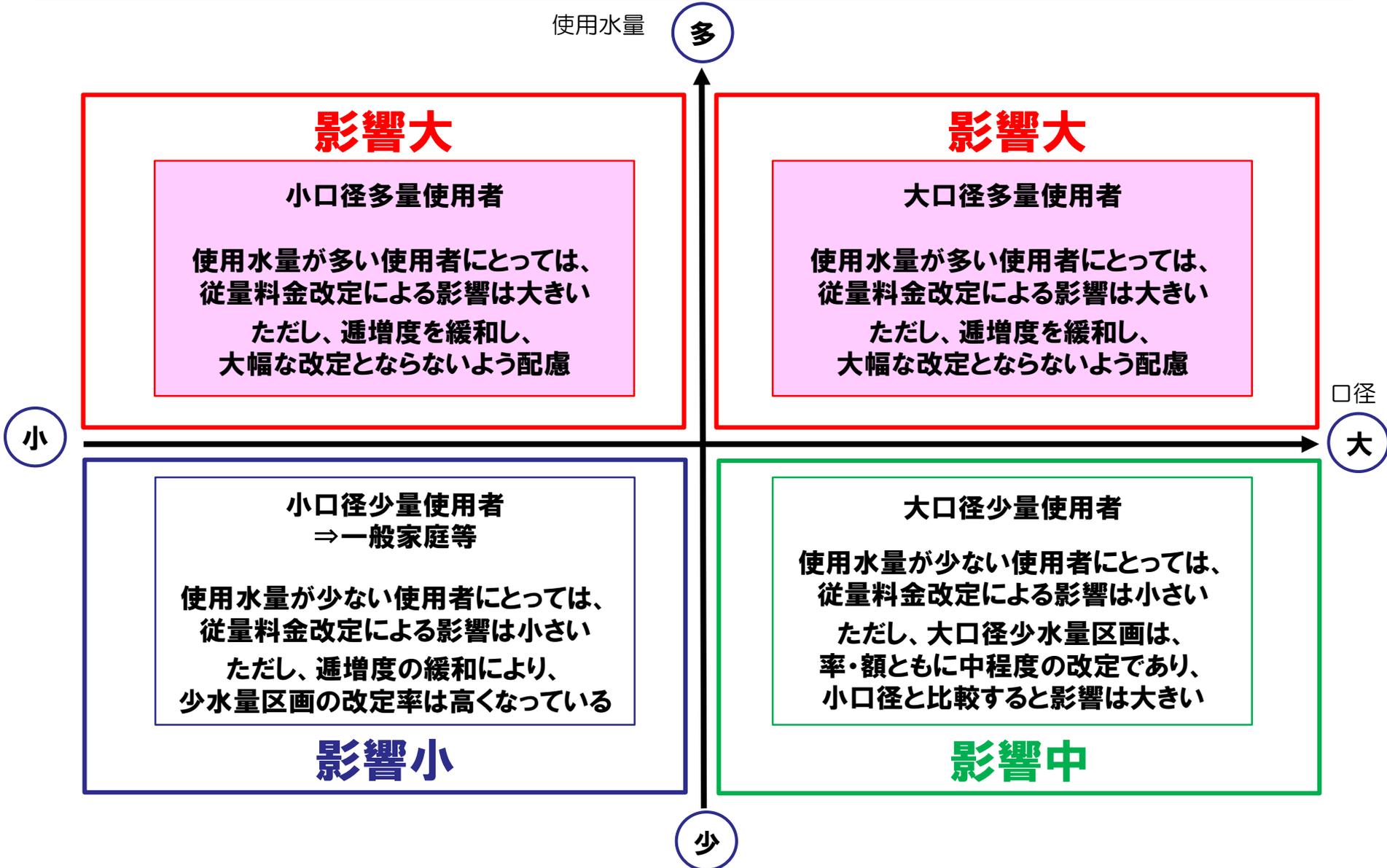
平均改定率：約7.0%（基本収入割合を27.9%とするため ⇔ 全体改定率9.7%）

・手引きに示された均一料金を目指して逡増度を緩和するため、少量使用者の改定率を高く設定し、水道使用量の増加に伴い改定率を緩和する。

（現状1.846 ⇒ 改定後1.741）

・ただし、少量使用者の急激な負担増とならないよう、少量区画の改定額を抑制する。

【従量料金】改定による影響



新料金体系検討方針のまとめ

	『水道料金改定業務の手引き』との比較	他市比較	方針
① 基本料金と従量料金の収入割合	<p>低</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現行の基本料金の収入割合は手引きに対して低い水準にあります。 	<p>低</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現行の基本料金の収入割合は他市と比較して低い水準にあります。 	<p>高める</p> <ul style="list-style-type: none"> • 手引き、他市平均ともに現行よりも高い水準にあるため、手引きに示された方法で算出した割合とします。 • ただし、少量使用者にとっては基本料金の改定の影響が大きいため、使用水量が少ないと想定される口径13mmについては、水道料金の激変とならないよう配慮します。
② 口径別基本料金	<p>低</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現行の口径別基本料金は手引きに対して低い水準にあります。 • 口径が大きくなるほど、手引きとの乖離が大きくなる傾向にあります。 	<p>低</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現行の口径別基本料金は他市と比較して低い水準にあります。 • 口径が大きくなるほど、他市平均との乖離が大きくなる傾向にあります。 	<p>高める</p> <ul style="list-style-type: none"> • 手引き、他市平均ともに現行よりも高い水準にあるため、手引きを基準として改定を検討します。 • ただし、大口径については手引きとの乖離が大きいため、水道料金の激変とならないよう配慮します。
③ 従量料金逡増度	<p>高</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現行の従量料金逡増度は手引きに対して高い水準にあります。 • また、手引きにおいては、均一料金制とされています。 	<p>低</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現行の従量料金逡増度は他市と比較して低い水準にあります。 	<p>低める</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現行の従量料金逡増度は、手引きよりも高い水準にある一方で、他市と比べて低い水準にあります。 • 経営の安定性の視点、公平性の視点から、従量料金逡増度は低める方向で検討します。 • ただし、少量使用者の水道料金が激変とならないよう配慮します。

新料金体系案

単位：円（1月当たり金額、税抜き）

口径	基本料金		現行差	改定率	水量	従量料金		現行差	改定率
	現行	改定後				現行	改定後		
13mm	520	578	+58	+11.2%	~10m ³ 11~25m ³ 26~50m ³ 51m ³ 超	65	72	+7	+10.8%
20mm	950	1,102	+152	+16.0%		127	135	+8	+6.3%
25mm	1,410	1,692	+282	+20.0%		156	165	+9	+5.8%
40mm	3,550	5,680	+2,130	+60.0%		201	211	+10	+5.0%
50mm	8,110	14,598	+6,488	+80.0%	~50m ³ 51m ³ 超	156 216	165 226	+9 +10	+5.8% +4.6%
75mm	15,430	30,860	+15,430	+100.0%					
100mm	23,650	47,300	+23,650	+100.0%					
150mm	47,410	94,820	+47,410	+100.0%					
臨時	13から150mmの各口径と同一				一律	325	339	+14	+4.3%
特定共用	470	578	+108	+23.0%	25mm口径以下と同一				

※臨時、特定共用の料金については、32ページ以降をご覧ください。

【事務局案】料金改定による影響額の試算（一覧）

従量料金と比較して基本料金の改定率が大きいいため、少量使用者は改定率が大きく、使用量が多いほど改定率が緩和される傾向になります。

上段：料金増加額（税込み、円）
下段：料金改定率

		水量 (m ³)												
		0	7	10	15	20	30	40	50	60	70	80	90	100
口径	13mm	63	118	140	185	228	322	421	520	630	740	850	960	1,070
		11.0%	11.0%	10.9%	9.3%	8.5%	7.6%	7.1%	6.8%	6.4%	6.1%	5.9%	5.8%	5.7%
	20mm	167	221	244	288	332	426	525	624	734	844	954	1,064	1,174
		16.0%	14.3%	13.9%	11.7%	10.5%	9.0%	8.2%	7.7%	7.1%	6.7%	6.5%	6.3%	6.1%
25mm	310	364	387	431	475	569	668	767	877	987	1,097	1,207	1,317	
	20.0%	17.7%	17.1%	14.5%	13.0%	10.9%	9.6%	8.9%	8.1%	7.5%	7.2%	6.9%	6.7%	

改定率大



改定率小

		水量 (m ³)																		
		0	50	100	200	300	400	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	5,000	6,000	8,000	10,000	35,000
口径	40mm	2,343	2,838	3,388	4,488	5,588	6,688	7,788	13,288	18,788	24,288	29,788	35,288	40,788	46,288	57,288	68,288	90,288	112,288	387,288
		60.0%	22.7%	13.9%	9.3%	7.8%	7.0%	6.5%	5.6%	5.3%	5.1%	5.0%	4.9%	4.9%	4.9%	4.8%	4.8%	4.7%	4.7%	4.7%
	50mm	7,136	7,631	8,181	9,281	10,381	11,481	12,581	18,081	23,581	29,081	34,581	40,081	45,581	51,081	62,081	73,081	95,081	117,081	392,081
		80.0%	43.6%	27.8%	17.5%	13.5%	11.4%	10.1%	7.4%	6.5%	6.0%	5.8%	5.6%	5.4%	5.3%	5.2%	5.1%	5.0%	4.9%	4.7%
	75mm	16,973	17,468	18,018	19,118	20,218	21,318	22,418	27,918	33,418	38,918	44,418	49,918	55,418	60,918	71,918	82,918	104,918	126,918	401,918
		100.0%	68.4%	48.1%	31.2%	23.8%	19.6%	16.9%	11.1%	9.0%	8.0%	7.3%	6.9%	6.6%	6.3%	6.0%	5.8%	5.5%	5.3%	4.8%
	100mm	26,015	26,510	27,060	28,160	29,260	30,360	31,460	36,960	42,460	47,960	53,460	58,960	64,460	69,960	80,960	91,960	113,960	135,960	410,960
		100.0%	76.6%	58.2%	40.1%	31.1%	25.8%	22.2%	14.2%	11.2%	9.6%	8.7%	8.0%	7.5%	7.2%	6.7%	6.3%	5.9%	5.7%	4.9%
	150mm	52,151	52,646	53,196	54,296	55,396	56,496	57,596	63,096	68,596	74,096	79,596	85,096	90,596	96,096	107,096	118,096	140,096	162,096	437,096
		100.0%	86.7%	73.3%	56.3%	46.1%	39.3%	34.4%	22.0%	16.9%	14.1%	12.4%	11.2%	10.3%	9.6%	8.7%	8.0%	7.2%	6.7%	5.2%

※各口径の平均的な使用水量に黄色で着色をしています。

料金改定による影響額の試算（平均使用水量）

1月の平均的な使用水量の料金改定による影響を各口径ごとに試算しました。

（税込み、円）

口径	使用水量	現行料金		改定後		影響額	
		基本料金 従量料金	合計	基本料金 従量料金	合計	基本料金 従量料金	合計
13mm	20m ³	572 2,112	2,684	635 2,277	2,912	63 165	228 (+8.5%)
20mm	20m ³	1,045 2,112	3,157	1,212 2,277	3,489	167 165	332 (+10.5%)
25mm	50m ³	1,551 7,100	8,651	1,861 7,557	9,418	310 457	767 (+8.9%)
40mm	200m ³	3,905 44,220	48,125	6,248 46,365	52,613	2,343 2,145	4,488 (+9.3%)

料金改定による影響額の試算（平均使用水量）

1月の平均的な使用水量の料金改定による影響を各口径ごとに試算しました。

（税込み、円）

口径	使用水量	現行料金		改定後		影響額	
		基本料金 従量料金	合計	基本料金 従量料金	合計	基本料金 従量料金	合計
50mm	500m ³	8,921 115,500	124,421	16,057 120,945	137,002	7,136 5,445	12,581 (+10.1%)
75mm	1,000m ³	16,973 234,300	251,273	33,946 245,245	279,191	16,973 10,945	27,918 (+11.1%)
100mm	3,000m ³	26,015 709,500	735,515	52,030 742,445	794,475	26,015 32,945	58,960 (+8.0%)
150mm	3,000m ³	52,151 709,500	761,651	104,302 742,445	846,747	52,151 32,945	85,096 (+11.2%)

3 臨時・特定共用の 料金案について

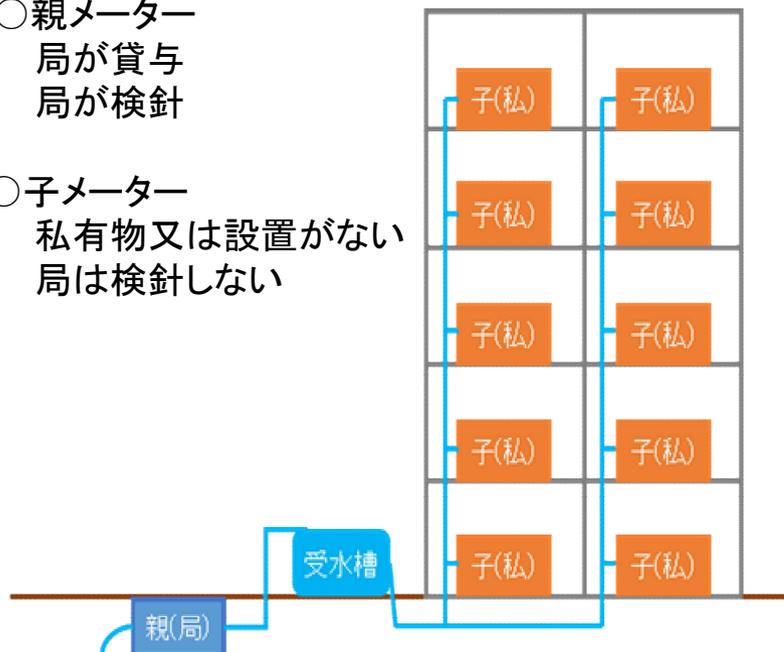
検討項目ごとの現状と改定案

検討項目	現状	改定案
臨時料金 の 従量料金	<ul style="list-style-type: none">一般の最大料金の1.5倍です。 $216\text{円} \times 1.5 \div 325\text{円}/\text{m}^3$	<ul style="list-style-type: none">改定後の一般の最大料金の1.5倍の額とします。 $226\text{円} \times 1.5 = 339\text{円}/\text{m}^3$
特定共用料金 の 基本料金	<ul style="list-style-type: none">1戸あたり470円で、 一般の口径13mm(520円) より低額となっています。	<ul style="list-style-type: none">各口径の給水能力により配賦する方法を基本とするため、一般の口径13mm(578円)と同額とします。

特定共用給水装置の水道料金について(現状)

○親メーター
局が貸与
局が検針

○子メーター
私有物又は設置がない
局は検針しない



基本料金:470円(1か月、1戸あたり)

従量料金:親メーターの使用水量と共同住宅内の使用戸数に応じて、特別の計算を行っています。

【計算の例】

親メーター(75ミリ)

使用水量:7,390^m (2か月)、使用戸数:225戸

①基本料金

$$470 \text{ 円} \times 225 \text{ 戸} \times 2 \text{ か月} = 211,500 \text{ 円}$$

②従量料金

$$(7,390 \text{ m}^3 \div 2 \text{ か月}) \div 225 \text{ 戸} = 16.42 \text{ m}^3$$

16.42^mに対するメーター口径25ミリ以下の金額
329,701円(225戸分) × 2か月 = 659,402円

∴水道料金の額(①+②)

$$211,500 + 659,402 = \underline{870,902 \text{ 円}}$$

(税抜き)

(参考)特別の計算を行わない場合

基本料金 従量料金

$$(15,430 + 795,120) \times 2 \text{ か月} = \underline{1,621,100 \text{ 円}}$$

(税抜き)